

この子らと

令和8年7月号

命輝く子ども

0歳児の子どもの避難



わくわく鹿児島中央認定こども園



園長 川口公男

“”小学校の音楽室で火事”

6月12日、東京・北区の小学校で起きた火災で、児童ら11人がけがをしました。

児童の声として「ざわついていて、**本当に死ぬの**かなって状況でした。命がけでした。「泣いている声やわたしたちどうなるの？」の声も聞かれました。」、当時、階段に行くために火元の音楽準備室の前を通らなければならなかった、廊下に煙が充満していたなどで**4階の音楽室の窓から幅54cm、高さ10mの「ひさしに避難**させた。

この火災で児童2人と児童を助けようとした音楽教師1人が骨折の重傷であった。

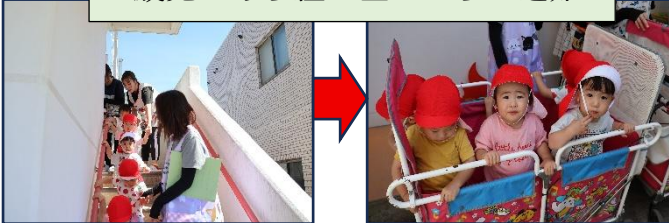
駆けつけた担任の教師の冷静な判断・指示により命を落とす児童はいなかった。

校長先生は「毎月、実際に結び付く避難訓練を行っていたので命を救うことができた。」と話しておられた。

様々な時刻、様々な場面を想定して、実際に役立つ避難訓練をめざして

今回は、1歳こあら組が①「屋上」で活動、5歳ぞう組が4歳きりん組で②「異年齢活動」、他は各保育室で活動と場面設定しての避難訓練を実施しました。

1歳児こあら組の屋上からの避難



1歳児の子どもたちは、屋上から非常階段を使って降りました。降りた場所に準備してあった「お散歩カート」に乗せて西田小学校に避難させます。

2歳児りす組



3歳児以上児クラス



上靴をはいたまま避難

2歳児りす組、3歳児ぱんだ組、4歳児きりん組、5歳児ぞう組の子どもたちは、可能な限り、上靴を履いての生活をして、いつ起きるか予測できない火災や地震、津波などの場合、素早く避難できるように準備しています。

火災で4階にいた小学生は、**上履きのまま、避難しました。本園もいつ起きるか予測できない災害に備えて、自分のクラスの保育室以外は、上履きを履いて活動させるように申し合わせています。**



子どもたちは上履きを履いて活動・避難

職員も、非常時に備え、上履きを履いて教育・保育

“園児への虐待や暴言等は、絶対にあってはならない”

鹿児島市のD保育園で保育士が服をつかんで引きずる等の虐待8件あったと報道されました。

また、日置市のY保育園では、保育士6人が園児の尻を叩いたり、眠そうな園児に食事を強要するなどの虐待等が34件あったと報道されています。



すべての子どもは、命を大切にされ、最大限の発達を保障される存在であることなどを十分に認識した教育・保育を進める必要があります。

本園は、園児一人一人の人権を尊重した教育・保育を進め、**体罰、虐待、暴言等「0」を実現**します。

- もっとも良い教師は、子どもとともに笑う教師である。もっとも良くない教師は、子どもを笑う教師である。
- 憎しみは憎しみを育て、愛は愛を育てる。